

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川教育

人づくり つながりづくり 地域づくり



学校運営協議会 とは



家庭 - 学校 - 地域
連携・協働して人づくり

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる

「地域とともにある学校」

への転換を図るための有効な仕組み



学校運営協議会 なぜ必要？

子供たちを取り巻く環境 学校が抱える課題

多様化 複雑化

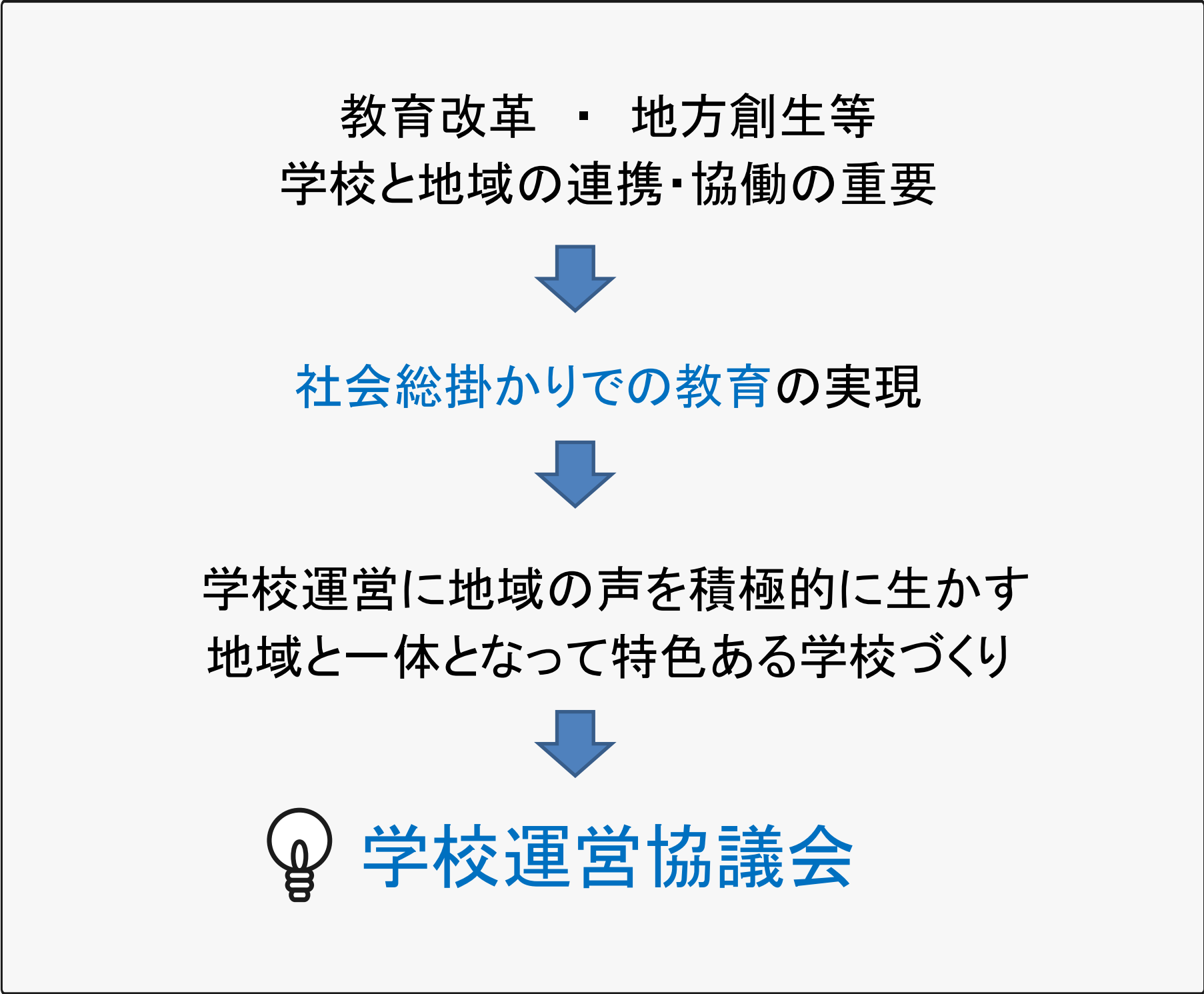
児童虐待の増加 貧困問題の深刻化 いじめ

不登校 Society5.0 グローバル化

子供たちの規範意識や社会性等の課題

地域社会のつながりや支え合いの希薄化

複雑化・多様化した学校の課題に伴う教職員の勤務負担



学校運営協議会 の運営と機能

【開催】

- 年間回数 3～5回
- 会議時間 1～2時間



【学校運営協議会の主な4つの機能】

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認(必須)
- 学校運営について意見を述べることができる(任意)
- 教職員の任用に関して意見を述べることができる(任意)
- 学校関係者評価をおこなう(必須)

学校運営協議会委員 の立場



市川市の非常勤特別職の公務員

【報酬】 年間 5,000円

※市職の正規職員・児童生徒は辞退

【任期】 2年

※学校・園ごとに2年間の任期のサイクル

【他校との兼任】
原則なし

※4号委員のみ2校まで

学校運営協議委員 の役割



◆ 学校の良きパートナー ◆

- ① 「学校経営の基本方針」を理解し
「目指す子どもの姿」を学校と共有する。
- ② 議題に対して、立場や所属団体の視点から
何かできることがないかアイデアをだす。
- ③ 年間の活動を振り返り課題に対する
手立てが適切であったか評価する。

市川市の 学校運営協議会 現状

■学校運営協議会（平成 31年度）

市立の小・中学校、義務教育学校、特別支援学校
幼稚園の導入率 **100%**

※全国公立学校の導入率 42.9%（令和4年度）

■地域学校協働本部（令和 2年度）

全中学校ブロック及び、義務教育学校学区に設置完了



■市川版コミュニティ・スクールの基盤整備完了

市川版コミュニティ・スクールの理念を実現させるため
次のステージへ



◆学校運営協議会委員が選出される観点◆

 地域の団体・施設・人材など地域資源に詳しい方

 ご自身の豊富な人脈・経験・能力を活かしてくれる方

 よりよい地域づくりに意欲的な方

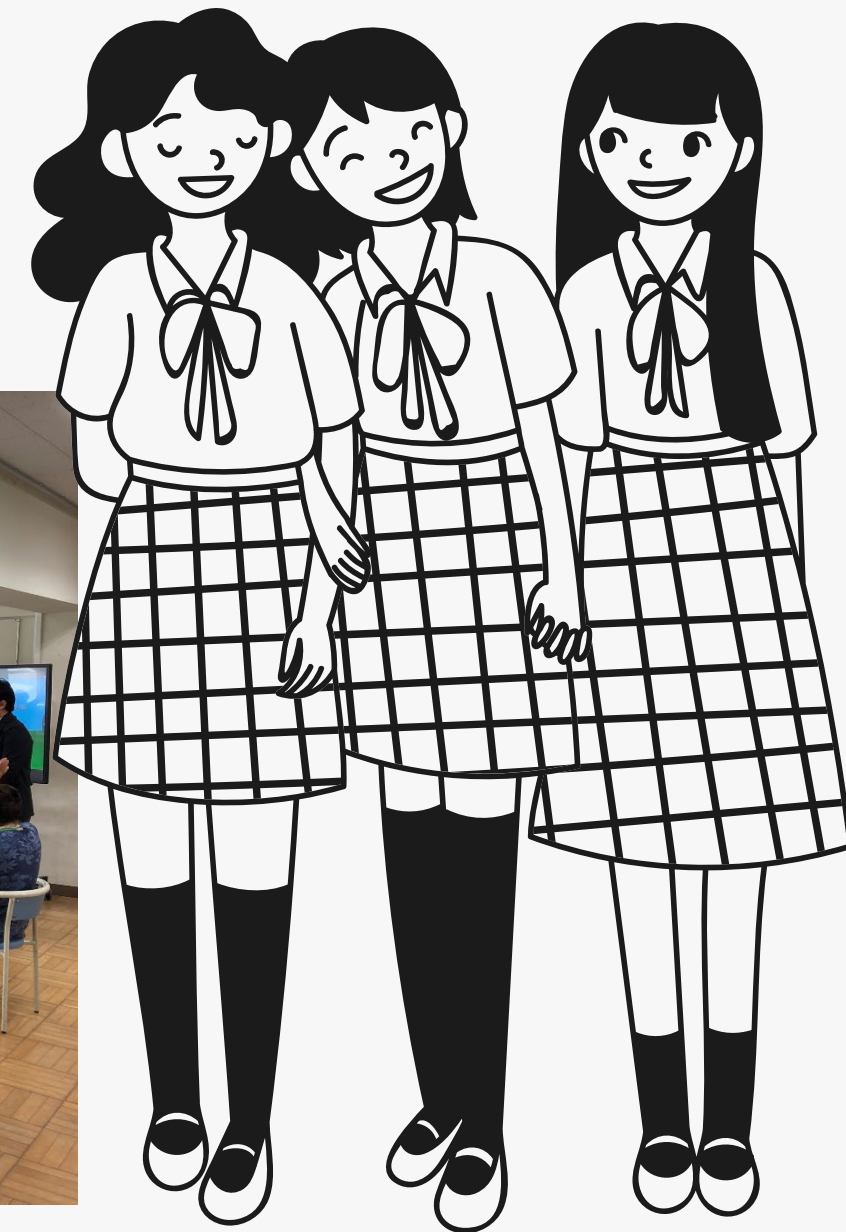
 学校・幼稚園の子どもたちのことが好きな方

学校運営協議会は

地域人材のオールスターチーム

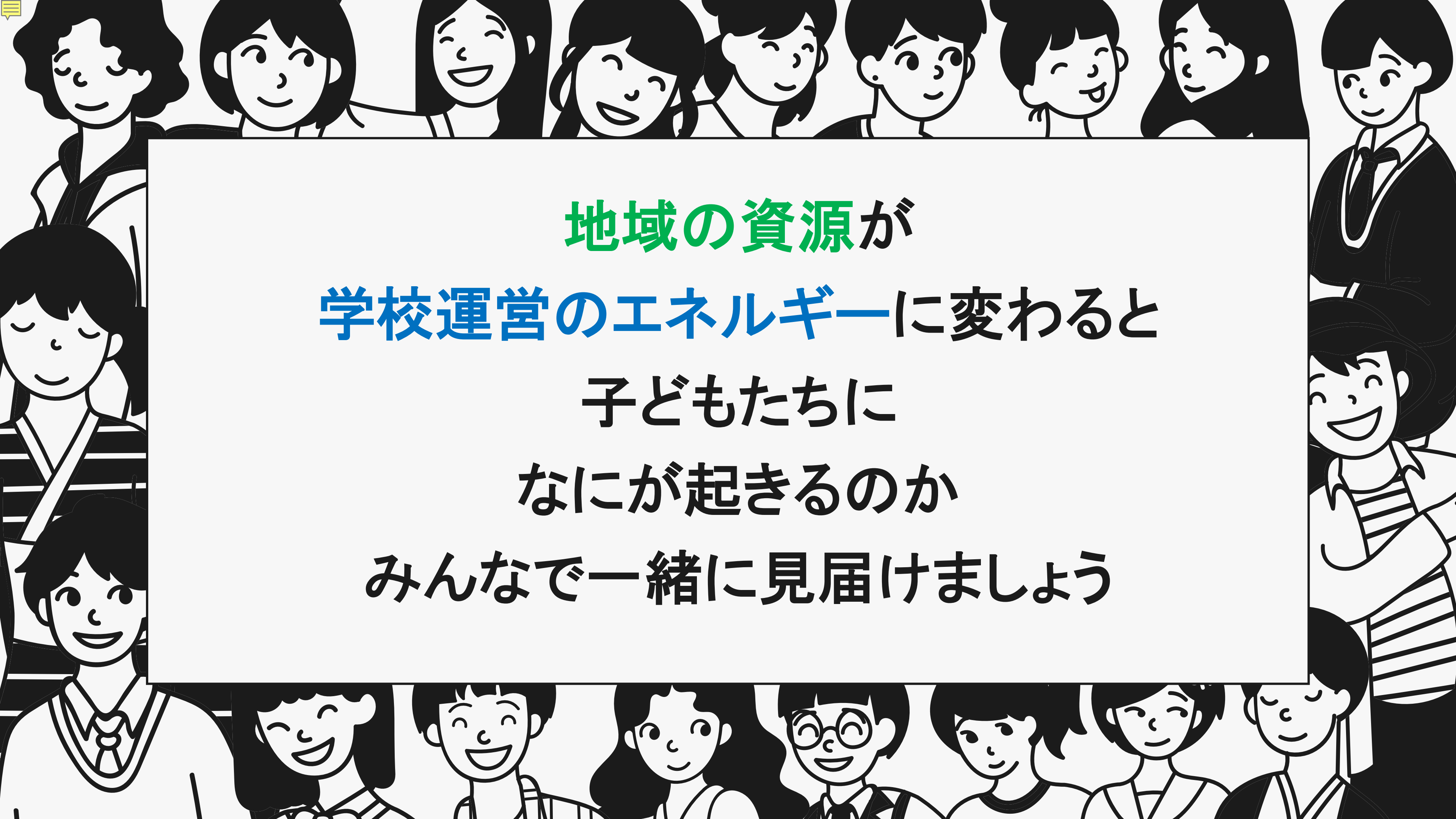
委員は観客ではなく、選手です

市内の園児・児童・生徒・教職員を支えるプレイヤーです



市川市の
子どもたちに
力をかけてください





地域の資源が
学校運営のエネルギーに変わると
子どもたちに
なにが起きるのか
みんなで一緒に見届けましょう



このまち、好きかも。

